



延長整備が望まれる「町道織笠外山線」



稲川勝憲 議員

建設行政

町道織笠外山線の延長整備

財政状況が厳しく難しい

質問 町道織笠外山線の整備は山田高校前から礼堂の館神地区までの1・5キロは未整備となっている。この路線は、中高生の通

学路ばかりでなく県北バスの走行や馬指野、田子の木外山地区などから国道45号線へ接続する路線であり、また、山田斎場へ通じる重要路線である。第8次町総合発展計画に

は、整備の計画が盛り込まれていないようであるが、計画の見直しを行い未整備地区の解消を図る必要があると思う。

① 整備計画にないのはなぜか。

② 補助事業として採択される見直しはあるか。

③ 県代行業業により国道45

号から山田高校までは、平成17年度に完成している。山田高校から礼堂までの区間についても改良整備の必要性は十分認識はしているが、現下の財政状況では、早期に計画することは難しい状況にある。

② 補助事業の採択も同様に厳しい状況にあることを理解願いたい。

水産振興

ナマコ増産の取り組み

漁協で行う資源調査に町も協力

質問 本年度、県北・沿岸振興のため、県が新たな事業として「中国で高級食材として需要の高いナマコの養殖技術の確立に取り組み、将来的に安定生産し、加工した干しナマコを海外

に輸出、漁業者の所得向上につなげる。稚ナマコの量産化は大船渡市にある県栽培漁業協会へ委託し10万個の生産を目指す」との報道があった。本町でもナマコを増産す

るため、町内漁協と協力しながら、漁場の調査、放流試験や漁法・漁具の改良に取り組み考えはないか。

沼崎町長 本町では、大浦漁協と船越湾漁協が県と連携して資源調査の予定であり、町も協力する。

放流試験については、県栽培漁業協会での種苗量産技術の確立に負うところが大きく、種苗配布を受けられるか未定である。漁法、漁具の改良については、放流効果の検証に合わせて取り込む課題と考えている。

町の考えを聞く



ナマコ漁の様子（大沢浜川目海区）